

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日

上場会社名 サカティンクス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4633 URL <https://www.inx.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 上野 吉昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 菅原 大輔 TEL 06-6447-5823  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	54,214	10.6	2,428	62.3	3,094	37.4	2,015	44.7
2022年12月期第1四半期	49,008	13.4	1,495	△46.0	2,252	△21.0	1,392	△24.1

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 3,854百万円 (△33.2%) 2022年12月期第1四半期 5,769百万円 (△6.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	40.28	—
2022年12月期第1四半期	23.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	180,600	95,933	49.3
2022年12月期	177,403	92,952	48.6

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 89,068百万円 2022年12月期 86,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期 (予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	109,000	5.3	3,900	92.2	4,500	79.7	3,000	25.0	59.96
通期	222,000	3.0	6,000	45.4	6,800	37.1	4,700	3.2	93.93

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	54,172,361株	2022年12月期	54,172,361株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	4,143,643株	2022年12月期	4,143,541株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	50,028,756株	2022年12月期 1 Q	58,436,702株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 四半期決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書 .....	7
四半期連結包括利益計算書 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(セグメント情報) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、新型コロナウイルス感染症による経済活動の落ち込みから持ち直しの動きが続いたものの、ウクライナ問題などの影響により資源価格が高止まりしていることに加え、世界的なインフレの進行及び金融引き締めにより、特に欧米を中心に、景気の減速感が顕著となり先行きが懸念される状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは2030年を見据えた長期ビジョン『SAKATA INX VISION 2030』を実現させるため、基盤構築フェーズである『中期経営計画2023 (CCC-I)』の最終年度として、環境配慮型製品を中心としたパッケージ用インキと機能性材料の拡販とともに、新規事業の確立に向けた基盤作りを進めました。また、印刷インキの主要原材料につきましても、ウクライナ問題の影響などにより上昇した資源価格や各地での環境規制の強化などにより、原材料価格が高止まりした状態が続いております。このため、製品の安定供給を最優先として、グループ会社間の連携強化やグローバル調達などによるサプライチェーンの安定化に取り組むとともに販売価格の改定に取り組みました。機能性材料事業では、インクジェットインキをはじめとして、カラーフィルター用顔料分散液、トナーなどの従来製品の拡販に加え、社会トレンドを捉えた高付加価値製品の開発に取り組みました。

売上高は、海外を中心に販売価格の改定が進んだことや機能性材料の拡販が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、542億1千4百万円（前年同期比10.6%増加）となりました。

利益面では、日本においては原材料や副資材の価格が高止まりしているほか、電気・ガス代といったユーティリティコストなども上昇しているものの、海外においてはこれらの価格がピークアウトしてきたなかで、販売価格の改定効果やインキコストの削減により収益性が改善したことなどから、営業利益は24億2千8百万円（前年同期比62.3%増加）となりました。経常利益は30億9千4百万円（前年同期比37.4%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、20億1千5百万円（前年同期比44.7%増加）となりました。

(参考) USドルの期中平均為替レート

	第1四半期 連結会計期間
2023年12月期	132.34円
2022年12月期	116.20円

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(単位：百万円)

	売上高					営業利益又は営業損失(△)			
	前期	当期	増減額	増減率	(※)実質	前期	当期	増減額	増減率
印刷インキ・機材(日本)	11,980	12,805	825	6.9%	6.9%	90	50	△39	△43.9%
印刷インキ(アジア)	10,605	11,799	1,194	11.3%	2.4%	417	763	345	82.7%
印刷インキ(米州)	16,275	18,640	2,365	14.5%	0.6%	538	1,033	494	91.7%
印刷インキ(欧州)	4,373	4,674	300	6.9%	△0.5%	△109	△143	△34	—
機能性材料	3,707	4,126	418	11.3%	5.9%	439	534	94	21.5%
報告セグメント計	46,942	52,046	5,103	10.9%	2.9%	1,377	2,237	859	62.4%
その他	3,632	3,864	231	6.4%	6.4%	118	122	4	3.5%
調整額	△1,566	△1,695	△129	—	—	0	68	68	—
合計	49,008	54,214	5,205	10.6%	3.1%	1,495	2,428	932	62.3%

(※)実質増減率：海外連結子会社の為替換算の影響を除いた増減率

**印刷インキ・機材（日本）**

感染症による社会経済活動の制限緩和が続き、各地で人出の増加や大型イベントの開催などにより経済活動が活発化したことや、水際対策の緩和による外国人観光客の増加などによりパッケージ関連の需要が高まりました。グラビアインキはレジャー消費やコンビニエンスストアの需要の高まりに加え、インバウンド消費の回復などもあり好調に推移しました。フレキシインキは紙袋関係の需要回復が続いたものの、食料品や飲料関係などの値上がりの影響で買い控えの動きもあり、全体としてやや低調に推移しました。印刷情報関連では、デジタル化の影響など市場の構造的な縮小や、広告需要の低迷が続いていることなどから、新聞インキ、オフセットインキともに低調に推移しました。このような状況のなか、販売価格の改定効果もあり、印刷インキ全体では前年同期を上回りました。機材につきましては、印刷製版用材料、機械販売ともに前年同期を上回りました。これらの結果、売上高は128億5百万円（前年同期比6.9%増加）となりました。

利益面では、販売価格の改定を進めてはいるものの、原材料価格が高止まりしているなか、電気・ガス代といったユーティリティコストの上昇や、印刷情報関連の印刷インキの販売が低調に推移したことなどから、営業利益は5千万円（前年同期比43.9%減少）となりました。

**印刷インキ（アジア）**

主力であるパッケージ関連のグラビアインキは、インドネシアで販売が好調であったほか、本格稼働したバングラデシュでも順調に拡販が続くなど全般的に堅調に推移しました。印刷情報関連では、インドでは好調な販売が続きました。一方、中国では、ゼロコロナ政策転換後の感染爆発により経済活動が停滞したことなどにより全般的に販売は低調に推移しました。売上高は、販売数量が増加したことや販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから117億9千9百万円（前年同期比11.3%増加）となりました。

利益面では、全般的に経費が増加したものの、販売価格の改定効果が寄与したことや、原材料価格がピークアウトしたことなどにより、営業利益は7億6千3百万円（前年同期比82.7%増加）となりました。

**印刷インキ（米州）**

金融引き締めによる市況の悪化が続いており販売数量に関しては全般的に低調に推移しました。主力のパッケージ関連では、顧客での在庫調整が続いたことなどから、フレキシインキ及びグラビアインキとも販売は落ち込みました。メタルインキは環境負荷の観点からアルミ缶に対する需要が高まっているという背景はあるものの、販売は伸び悩みました。印刷情報関連であるオフセットインキは、市場の構造的な縮小もあり低調に推移しました。売上高は、販売数量は伸び悩んだものの、販売価格の改定が大きく進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、186億4千万円（前年同期比14.5%増加）となりました。

利益面では、人件費は増加したものの、販売価格の改定効果が寄与したことや、原材料価格がピークアウトしたなかでインキコストの削減を推し進めたことなどにより、営業利益は10億3千3百万円（前年同期比91.7%増加）となりました。

**印刷インキ（欧州）**

パッケージ関連を中心として拡販に取り組んだものの、販売数量に関しては伸び悩みました。売上高は、販売価格の改定が進んだことに加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、46億7千4百万円（前年同期比6.9%増加）となりました。

利益面では、販売価格の改定効果が寄与したものの、販売数量が伸び悩んだことや原材料価格が一部で高止まりしていることに加え、人件費などの経費が増加した影響もあり1億4千3百万円の営業損失（前年同期は1億9百万円の営業損失）となりました。

**機能性材料**

インクジェットインキは販売が堅調に推移し前年同期を上回りました。カラーフィルター用顔料分散液はパネルディスプレイの市況がやや改善傾向にあることもあり、前年同期並みとなりました。トナーは、海外向けの販売が堅調に推移したことなどから前年同期並みとなりました。これらの結果に加え、円安による為替換算の影響を受けたことなどから、売上高は41億2千6百万円（前年同期比11.3%増加）となりました。

利益面では、デジタル印刷材料の販売が増加したことなどにより、営業利益は5億3千4百万円（前年同期比21.5%増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、棚卸資産は減少したものの、売上高の増加に伴い売上債権が増加したことや、株価の上昇に伴う時価評価などにより有価証券が増加したことなどから、前連結会計年度末比31億9千7百万円(1.8%)増加の1,806億円となりました。

負債は、仕入債務が減少したものの、設備投資を目的とした借入金が増加したことなどから、前連結会計年度末比2億1千6百万円(0.3%)増加の846億6千7百万円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加に加え、その他の包括利益累計額が増加したことなどから、前連結会計年度末比29億8千万円(3.2%)増加の959億3千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績を踏まえて2023年2月14日に公表しました業績予想を修正いたしました。

売上につきましては、前回発表予想から修正はないものの、利益につきましては、海外において原材料価格がピークアウトの傾向にあるなか、販売価格の改定効果により収益性が改善傾向にあり、各段階利益は前回発表予想を上回る見込みであります。一方、通期における業績予想につきましては、アメリカをはじめとする各国の景気動向が不透明であることもあり、前回公表値を据え置いております。

なお、前提条件として、海外連結子会社の収益・費用の為替換算にあたって影響を受け易いUSドルにつきましては、通期で125.00円(年間単純平均)としております。

2023年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (2023年2月14日)	109,000	2,300	2,600	1,700	33.98
今回修正予想(B)	109,000	3,900	4,500	3,000	59.96
増減額(B-A)	—	1,600	1,900	1,300	
増減率(%)	—	69.6	73.1	76.5	
(ご参考)前期実績 (2022年12月期)	103,533	2,028	2,503	2,400	42.84

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,120	12,154
受取手形及び売掛金	53,862	55,196
商品及び製品	13,164	16,216
仕掛品	1,514	1,575
原材料及び貯蔵品	18,669	15,016
その他	2,394	2,570
貸倒引当金	△575	△582
流動資産合計	101,150	102,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,858	19,774
機械装置及び運搬具(純額)	10,391	10,407
土地	9,816	9,847
リース資産(純額)	231	237
建設仮勘定	3,814	3,815
その他(純額)	4,273	4,408
有形固定資産合計	48,385	48,490
無形固定資産		
のれん	441	432
その他	1,901	2,514
無形固定資産合計	2,342	2,946
投資その他の資産		
投資有価証券	23,942	25,346
その他	2,592	2,735
貸倒引当金	△1,010	△1,065
投資その他の資産合計	25,524	27,016
固定資産合計	76,252	78,453
資産合計	177,403	180,600

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,121	23,449
電子記録債務	14,316	12,041
短期借入金	11,046	11,299
1年内返済予定の長期借入金	1,979	3,456
未払費用	4,656	3,998
未払法人税等	524	374
賞与引当金	547	912
その他	2,951	2,693
流動負債合計	59,143	58,225
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	11,244	12,009
退職給付に係る負債	4,869	4,879
資産除去債務	74	75
その他	8,119	8,478
固定負債合計	25,307	26,442
負債合計	84,450	84,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,472	7,472
資本剰余金	5,672	5,672
利益剰余金	71,729	73,038
自己株式	△4,015	△4,015
株主資本合計	80,859	82,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,111	1,513
繰延ヘッジ損益	△0	△2
為替換算調整勘定	5,010	6,069
退職給付に係る調整累計額	△709	△680
その他の包括利益累計額合計	5,412	6,899
非支配株主持分	6,680	6,864
純資産合計	92,952	95,933
負債純資産合計	177,403	180,600



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## (四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	49,008	54,214
売上原価	39,446	42,855
売上総利益	9,562	11,359
販売費及び一般管理費	8,066	8,930
営業利益	1,495	2,428
営業外収益		
受取利息	12	25
受取配当金	109	5
持分法による投資利益	219	409
為替差益	388	286
その他	110	146
営業外収益合計	841	873
営業外費用		
支払利息	74	175
その他	10	31
営業外費用合計	84	206
経常利益	2,252	3,094
税金等調整前四半期純利益	2,252	3,094
法人税、住民税及び事業税	601	868
法人税等調整額	131	△31
法人税等合計	733	836
四半期純利益	1,518	2,257
非支配株主に帰属する四半期純利益	126	242
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,392	2,015

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	1,518	2,257
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△132	414
繰延ヘッジ損益	2	△1
為替換算調整勘定	3,250	830
退職給付に係る調整額	30	32
持分法適用会社に対する持分相当額	1,099	321
その他の包括利益合計	4,250	1,596
四半期包括利益	5,769	3,854
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,228	3,502
非支配株主に係る四半期包括利益	540	352

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

当第1四半期連結累計期間において、前連結会計年度の有価証券報告書(追加情報)(新型コロナウイルスの感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)に記載した新型コロナウイルスの感染症拡大の影響に関する仮定についての重要な変更を行っておりません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ・ 機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	11,977	10,558	16,057	4,154	3,684	46,433	2,574	49,008	—	49,008
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,977	10,558	16,057	4,154	3,684	46,433	2,574	49,008	—	49,008
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	46	218	219	22	508	1,057	1,566	△1,566	—
計	11,980	10,605	16,275	4,373	3,707	46,942	3,632	50,575	△1,566	49,008
セグメント利益又は 損失(△)	90	417	538	△109	439	1,377	118	1,495	0	1,495

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成成品事業、ディスプレイサービス事業及び色彩関連機器事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、セグメント間取引消去188百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△188百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	印刷 インキ・ 機材 (日本)	印刷 インキ (アジア)	印刷 インキ (米州)	印刷 インキ (欧州)	機能性 材料	計				
売上高										
顧客との契約から生じる収益	12,805	11,766	18,356	4,497	4,111	51,537	2,677	54,214	—	54,214
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,805	11,766	18,356	4,497	4,111	51,537	2,677	54,214	—	54,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	33	284	176	14	509	1,186	1,695	△1,695	—
計	12,805	11,799	18,640	4,674	4,126	52,046	3,864	55,910	△1,695	54,214
セグメント利益又は 損失(△)	50	763	1,033	△143	534	2,237	122	2,359	68	2,428

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、日本における化成成品事業及びディスプレイサービス事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額68百万円には、セグメント間取引消去270百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△202百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。